

東日本地域高等専門学校技術職員特別研修会

報告者	島野 竜成	報告日時	令和5年9月11日(月)
実施場所	長岡技術科学大学	実施日時	令和5年8月29日(火)~31日(木)
参加職員数	1名		

・報告

令和5年8月29日から令和5年8月31日まで東日本地域高等専門学校技術職員特別研修会に参加しました。研修会は長岡技術科学大学で実施されました。会場の様子は図1のようでした。日程は1日目講義、2日目発表、3日目施設見学および講義でした。

講義を受けて感じたことは情報技術を活用して建設現場の発展を目指す動きが多いということでした。プログラミング、3Dモデリング、リモートセンシングなど様々な情報技術を活用した研究をされていることが印象的でした。

発表は「リカレント教育講座および公開講座について」という題目で行いました。本校で実施した「測量技能講習」と「ミニ消波ブロックを作ろう」について発表しました。質疑応答では多数の質問をいただきました。ミニ消波ブロックの型枠についての質問とリカレント教育講座の実施に関する質問が多く、他校で実施する際の参考にするようです。他参加者の発表で印象的だったのは奨励研究の発表です。3分の1ほどの参加者が研究に関する発表をしており、内容についても非常に高度なものでした。これらの発表から自身もよい刺激を受けました。

施設見学では長岡技術科学大学の建設系の実験室を主に見学させていただきました。図2は施設見学の様子です。学生の研究成果、水工学実験室、土質実験室、コンクリート実験室の順で見学させていただきました。規模の大きさやカメラによる監視システムなど本校にないものに圧倒されました。また本校では空港が近い関係で触れることが少ない UAV(ドローン)の見学も行いました。UAVの操作や撮影について簡単にではありますが学べたように感じます。

全体を通して感じたことはとにかく情報技術を活用しているということでした。前述した講義の他に参加者の発表でも情報技術がふんだんに活用されており、建設系では情報技術が必須となりつつあると強く感じました。私もプログラミングや3Dモデリングに関して学習したいと感じさせられました。講義の中でも受講者が学習しやすいように無料のソフトの紹介や、アクティブラーニングによりソフトの使い方を講師の先生と学ぶことができたので個人の学習で役立てたいと思います。

3日間の研修でしたが得られるものは非常に多かったです。講義してくださった先生方や参加者の皆さんに感謝申し上げます。



図1 会場の様子



図2 施設見学の様子